

世界のジャスティス —地域の揺らぎが未来を照らす—

日時：2014年4月26日(土) 13時30分～18時25分


場所：稲盛財団記念館大会議室(3階・333号室)

趣 旨

世界の様々な地域には、多様な正義が存在する。規範や価値観となる正義もあれば、個人的な美学や倫理といった観点から意識される正義もあるだろう。そんな正義を携えて、私たちは生き、移動し、出会い、そして混淆する。しかし、人と人の遭遇や混淆は、それぞれの正義の揺らぎと衝突もまた引き起こす。それは個々人の内面で起こる場合もあるし、社会と社会の紛争という大きな形でも現れうる。衝突や紛争は、すぐさま問題というわけではない。それぞれの正義、それぞれの価値観が衝突する際に露出するのは、むしろ正義そのものに潜む問題であったり、価値観それ自体が生み出してしまう矛盾であったりする。つまり、衝突や紛争の瞬間に、自分自身や自らの社会が抱える問題が露出するのだ。そう考えれば、正義の様相や絡まり合いのメカニズムを描き出すことは、私たちが生きる地域の課題と向き合い、地域の明日を捉えることにもつながっていくだろう。

前回の「世界のエスキス」に続く今回の地域研ワークショップ「世界のジャスティス」では、地域における多様な正義の様相を、科学、宗教、食文化、災害、都市と農村、ファッション、歴史などのキーワードと結びつけて具体的に議論する。その議論の先に見据えているのは、地域の未来だ。複数の正義の中で、人も地域も揺らぐ。その揺らぐ地域こそ、私たち地域研の知的挑戦の場所であり、新しい正義が生まれる希望の場所に他ならない。

プログラム

- | | |
|---------------|---|
| 13:30 ~ 13:40 | はじめに
原 正一郎 (京都大学地域研究統合情報センター・センター長) |
| 13:40 ~ 13:55 | 趣旨説明
谷川 竜一 (地域研) |
| 13:55 ~ 14:30 | その王は都市で作られた—カメルーンのバミレケ首長制社会と都市エリート
報告者: 平野(野元) 美佐 (京都大学アフリカ地域研究資料センター) |
| 14:30 ~ 15:05 | 渚の灰から微笑み返し—2004年スマトラ島沖地震津波と社会の再生
報告者: 西 芳実 (地域研) |
| 15:05 ~ 15:40 | 正義を食ベチャイナー—北タイ中国系ムスリムのハラールフードをめぐる展開と交渉
報告者: 王 柳蘭 (地域研) |
| 15:40 ~ 15:55 | Coffee Break  |
| 15:55 ~ 16:30 | 科学がタイ立するなんて!—多チャンネル化する科学的見解と自然災害
報告者: 星川 圭介 (地域研) |
| 16:30 ~ 17:05 | 社会をよそおうオンナたち—ウズベキスタンにおけるイスラーム・ヴェール今昔
報告者: 帯谷 知可 (地域研) |
| 17:05 ~ 18:20 | コメントおよび総合討論
コメント: 河合 英次(河合塾公民科講師)
幡谷 則子(上智大学教授、都市社会学、ラテンアメリカ地域研究)
門司 和彦(長崎大学大学院教授、人類生態学・熱帯公衆衛生学) |
| 18:20 ~ 18:25 | おわりに
貴志 俊彦 (地域研・副センター長) |

18:30 ~ 懇親会 場所：稲盛財団記念館中会議室(3階・332号室) ※会費制

休憩室では現在地域研が公開している各種データベースのデモンストレーションを行います。ぜひお試しください。

問合せ先：共同利用・プロジェクト構想委員会
project@cias.kyoto-u.ac.jp